

平成23年度

# 事業報告書

社会福祉法人 尾鷲市社会福祉協議会

## 目 次

事業総括	2
I 企画調整部門	
1. 総務係	3～8
2. 地域福祉係	9～20
II 総合相談・支援部門	
1. 尾鷲市地域包括支援センター	21～27
2. 紀北障がい者総合相談支援センター（結）	28～36
III 介護サービス部門	
1. 居宅介護支援事業所	37～38
2. 訪問介護事業所	39～41
3. 訪問入浴事業所	42
4. 尾鷲通所介護事業所（いきいき）	43～44
5. 輪内通所介護事業所	45～46
IV 輪内高齢者サービスセンター	47

## 事業総括

昨年は、3月11日に発生した東日本大震災、9月中旬には台風12号の紀伊半島の豪雨災害等、多くの災害に見舞われました。東日本大震災においては、三重県社協との協力により岩手県大槌町に職員を派遣する傍ら、ボランティアを募り、職員も一緒にボランティア活動を行いました。また、台風12号による東紀州の豪雨災害では、被害が甚大であった熊野市と紀宝町へ職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営に協力しました。

一方、後方支援として、ボランティアの皆さんに尾鷲市福祉保健センターを仮眠施設として開放しました。幸い当市においては、大きな被害もありませんでしたが、改めて災害には同じものがないこと、災害時の対応についての認識を新たにしたところです。

このような中で、三重県社協、近隣社協の職員との関係、関係機関・団体との連携を強化し、地域福祉推進のため事業計画に基づいた事業を行ってきました。

地域福祉係においては、子育て支援にも力を入れ、平成22年度から実施している子育て支援を充実させ、貸出し物資の件数も増え、少しずつですが、市民の方にも広がりを見せています。

赤い羽根共同募金運動の配分については、世代間交流事業を自治会以外の団体にも広げ、共同募金運動の市民への啓発にも取り組みました。

また、緊急貸付については貸付の件数が増えてきていますが、単なる貸付にとどまらず、本人の生活支援にまで力を注いでいます。

障がい者総合相談支援センター『結』においては、当事者自身が参画する部会運営に力をいれ、それぞれの部会において活動をしています。くらし部会では障がい者自身が避難所や避難経路の確認、避難訓練に、相談部会では地域の資源マップ作りに取り組んでいます。また障がい者就労支援の『はあと畑』では、昨年4月から「接客サービス」への就労体験として、週1回福祉保健センターロビーを利用して、昼食を提供するなど、多くの会員に支えられ活動を続けています。

包括支援センターは、認知症高齢者や家族を支える支援として認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する理解を市民に広げるとともに、徘徊による行方不明を未然に防ぐため警察や地域との連携にも取り組みました。また、成年後見人制度等に対する理解を深める講座も開催しています。

介護保険事業においては、訪問入浴サービス、障がいホームヘルプサービスは昨年度より実績が伸びていますが、そのほかの事業においては実績が前年より減少しており、平成24年度には他の事業所のグループホーム・ショートステイがオープンすることにより、更なる利用者の減少が予想され、職員に対して現状を認識し、新たな利用者の獲得の方法などの検討に努めています。

一方、輪内高齢者サービスセンターでは、本会の輪内地区での分室機能を備えた運営に加え、市から委託を受けた自立支援事業として、地区配食事業のほか自主事業の「あったか弁当」など、より充実した事業に取り組んでいます。

近年の長引く景気の減退・介護保険事業の厳しい状況の中で、本会の運営や事業は、大きな影響を受けていますが、今後においても関係機関・団体との連携をより強化し、地域福祉推進のため事業計画に基づく施策について積極的に展開していきます。

# I 企画調整部門

## 1 総務係

### 1. 会務の運営

適正な法人運営と事業の円滑な事業推進を図るため、次のとおり役員会等を開催した。

#### (1) 理事会の開催

第1回 平成23年 5月26日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 9名

- ①平成22年度事業報告書(案)について
- ②平成22年度決算報告書(案)について
- ③平成23年度第1回補正予算書(案)について
- ④評議員の一部変更について

第2回 平成23年10月27日 尾鷲市福祉保健センター 出席者11名

- ①平成23年度第2回補正予算書(案)について
- ②評議員の一部変更について

第3回 平成24年 1月26日 尾鷲市福祉保健センター 出席者11名

- ①平成23年度第3回補正予算書(案)について
- ②定款の一部変更について
- ③評議員の一部変更について

第4回 平成24年 3月29日 尾鷲市福祉保健センター 出席者13名

- ①平成23年度第4回補正予算書(案)について
- ②平成24年度事業計画書(案)について
- ③平成24年度当初予算書(案)について
- ④定款の一部変更について
- ⑤経理規定等の一部変更について
- ⑥評議員の選任について

(2) 評議員会の開催

第1回 平成23年 5月26日 尾鷲市福祉保健センター 出席者26名

- ①平成22年度事業報告書(案)について
- ②平成22年度決算報告書(案)について
- ③平成23年度第1回補正予算書(案)について
- ④理事の一部変更について

第2回 平成23年10月27日 尾鷲市福祉保健センター 出席者19名

- ①平成23年度第2回補正予算書(案)について
- ②理事の一部変更について

第3回 平成24年 1月26日 尾鷲市福祉保健センター 出席者19名

- ①平成23年度第3回補正予算書(案)について
- ②定款の一部変更について

第4回 平成24年 3月29日 尾鷲市福祉保健センター 出席者23名

- ①平成23年度第4回補正予算書(案)について
- ②平成24年度事業計画書(案)について
- ③平成24年度当初予算書(案)について
- ④定款の一部変更について
- ⑤経理規定等の一部変更について
- ⑥理事・監事の選任について

(3) 監事監査

- ①平成23年5月10・11日 尾鷲市福祉保健センター 監事2名  
平成22年度1月～3月 定期会計監査  
平成22年度の事業及び決算についての監査
- ②平成23年8月11日 尾鷲市福祉保健センター 監事2名  
平成23年度4月～6月 定期会計監査
- ③平成23年11月 8日 尾鷲市福祉保健センター 監事2名  
平成23年度7月～9月 定期会計監査
- ④平成24年2月 9日 尾鷲市福祉保健センター 監事2名  
平成23年度10月～12月 定期会計監査

(4) その他の監査

- ①平成24年1月30日 財政援助団体等監査  
(尾鷲市監査事務局)

## 2. 事務局体制の強化

### (1) 事務局体制の強化

- 正規職員 1名登用試験を行った。
- 嘱託職員 5名採用試験を行った。(うち3名は登用)
- 日額職員 1名採用試験を行った。

(参考：平成23年度内退職者 16名)

### (2) 福祉関係資格取得の奨励及び、各種研修会への参加

#### ①資格取得の状況(新規)

- ・介護支援専門員 2名

#### ②研修会への参加と開催

県社協の実施する役職員セミナーや専門、職種別研修会に積極的に参加した。社会福祉従事者としての自覚、使命感を育て問題解決能力を養うための自己啓発の促進として、下記の経験や役職に応じた体系的な研修に参加した。

- ・新任職員研修 1名
- ・中堅職員研修 4名
- ・指導的職員研修 2名

### (3) 事務の効率化

- ①文書処理簿、時間外勤務などのパソコン処理化
- ②会計・給与ソフトの各事業所間のオンライン化。
- ③公用車駐車場の見直し

### (4) 定款、規則等の廃止、施行、改正を行い、活動基盤の充実に努めた。

- ①定款の変更
- ②尾鷲市社会福祉協議会経理規定の改正
- ③尾鷲市社会福祉協議会旅費規程の改正
- ④尾鷲市社会福祉協議会基金運用規程の制定

### 3. 災害時における避難者安全確保体制と資機材の確保（各係共同）

(1) 平成23年 3月11日 東日本大震災

①三重県内社協と共同して職員を岩手県大槌町へ派遣 4名派遣

4月2日～4月9日 5月15日～5月22日

6月9日～6月16日 8月14日～8月21日

②市内のボランティアと職員が岩手県大槌町へボランティア活動

ボランティア3名 職員 2名

7月14日～17日

(2) 平成23年 9月2日～4日 台風12号による災害

避難所開設と三重県内社協及び紀北町社協と共同で熊野市、紀宝町へ職員を派遣した。

9月 2日～3日 福祉保健センター避難所開設 避難者 16名

9月 4日 台風後の大雨のため避難所開設 避難者 43名

9月 6日 県内の被災地（熊野市・紀宝町・御浜町）社協訪問  
熊野社協へ災害物資を届ける。

9月 7日 紀宝町へ水、消毒液届ける。

9月 8日 熊野市・紀宝町社協の災害ボランティアセンターへ職員  
派遣する。10月3日（熊野市）、10月11日（紀宝町）  
まで、延べ55名（正規職員 18名）を派遣する。

9月14日～10月8日 後方支援

福祉保健センターを仮眠施設に開放し、県内外のボラン  
ティアに提供 3団体 8日 延べ 208名

(3) 避難所開設

9月 2日～ 3日 台風12号 16名

9月 4日 大雨洪水警報 43名

9月20日～21日 台風15号 18名

9月24日 大雨洪水警報 29名

のべ106名が避難

## 4. 地域福祉財源の確保

- (1) 補助事業および委託事業などの公的助成の確保
- (2) 自主財源の確保

### ①善意銀行の運営

市民の善意により次のとおり、現金物品が寄贈された。

現金：	一般預託	22件	808,310円
	指定預託	2件	300,000円
	合計	24件	1,108,310円
	※前年度合計	24件	1,049,437円

物品： デジタル液晶テレビ、シルバーカー2台、空気清浄機1台

## 5. 福祉団体活動支援

- (1) 老人クラブ活動の推進と支援

老人の健康、生きがいなどの福祉の向上を図るとともに 社会奉仕活動への積極的な参加促進を支援した。

- ①老人クラブ連合会活動の支援      31クラブ・会員数 1,777名
- ②老人の社会奉仕活動への参加促進の支援
- ③高齢者友愛訪問活動への支援
- ④尾鷲市福祉保健センターを活用した各種講座の開催

年 度	講 座 数	延べ参加人数
平成21年度	9講座	2,943名
平成22年度	9講座	3,229名
平成23年度	10講座	3,276名

- (2) 遺族会の支援

遺族会活動の支援と尾鷲市戦没者追悼式の共催した

尾鷲市戦没者追悼式 尾鷲市との共催

平成23年6月5日 尾鷲市民文化会館

参列者 250名

## 6. 苦情解決事業の推進

苦情解決体制の一層の充実を図り、第三者委員をはじめ地域住民からの苦情の汲み上げるとともに、苦情に対する職員の意識を高め、サービスの質の向上に取り組んだ。



①苦情解決体制の構築

- ・苦情解決責任者の設置 事務局長
- ・苦情受付担当者の設置 総務係長
- ・第三者委員の設置 4名委嘱

②苦情解決事業第三者委員会の開催（苦情報告）

日 時：平成 23年 8月 1日

場 所：尾鷲市福祉保健センター1階 ボランティア室

参加者 第三者委員 4名 事務局 2名

③苦情解決事業第三者委員研修会への参加

天候不順のため中止

④苦情件数 苦情総数（平成23年4月～平成24年3月） 1件

（平成22年度 1件）

苦情の内容	平成23年度	前年度
ケアの内容に関わる事項	0	0
個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0
財産管理・遺産・遺言等	0	0
制度・施策に関わる事項	0	0
その他（職員の言動・交通マナー）	1	1
本会以外への苦情等	0	0
合 計	1	1

## 2 地域福祉係

### 1. 赤い羽根共同募金運動の推進、基盤強化

民生委員児童委員、自治会、婦人会など多くの関係者の協力を得て、募金運動を推進した。

#### (1) 一般募金運動（強化月間：平成23年10月1日から2カ月間）

募金実績

	平成23年度	前年度	前年比較
目標額	3,754,300円	3,538,700円	215,600円
実績額	3,417,869円	3,716,768円	▲298,899円
達成率	91%	105%	

募金種別による内訳

(単位：円/件)

	平成23年度		前年度		前年比較	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
戸別募金	2,252,266	4,714	2,419,947	5,028	▲167,681	▲314
法人募金	737,000	121	736,500	123	500	▲2
街頭募金	80,195	1	68,890	1	11,305	—
学校募金	50,015	5	31,389	3	18,626	2
職域募金	129,843	10	125,530	16	4,313	▲6
イベント募金	119,495	8	140,060	10	▲20,565	▲2
ハーフルベンダー	15,136	1	15,335	1	▲199	—
募金箱・その他	33,919	22	179,117	22	▲145,198	—
合計	3,417,869	4,882	3,716,768	5,204	▲298,899	▲322

#### (2) 募金配分金による事業の充実

- |                           |     |        |
|---------------------------|-----|--------|
| ① 世代間交流事業（二次配分事業）         | 5団体 | 15万円助成 |
| ② 障がい児者団体への配分金事業          | 1団体 | 5万円助成  |
| ③ 老人クラブ連合会（友愛訪問活動）への配分金事業 |     | 25万円助成 |

## ④おしゃべりほのぼのサロン事業

(単位：名)

市町 月	尾鷲 (第1週)	尾鷲 (第3週)	九鬼	早田	須賀利
4月	18	17	13	16	7
5月	—	14	—	14	6
6月	18	16	9	15	7
7月	15	—	6	12	7
8月	—	—	—	—	—
9月	11	—	8	13	6
10月	11	12	8	13	6
11月	12	11	5	12	6
12月	12	11	—	13	7
1月	—	10	17	14	—
2月	—	10	8	13	7
3月	12	12	12	10	6
のべ人数	109	113	86	145	65

## ⑤福祉協力校支援事業の実施

(助成事業)

福祉協力校<小学校：7校、中学校：2校、高校：1校、特別支援学校：1校 計11校>に対し、福祉教育の活動への助成（1校5万円以内 総額53万円）を行った。

(福祉協力校連絡会議)

開催日：平成23年6月14日（火） 参加者：9名

(福祉教育事業への協力)

・体験教室の開催

内容：車椅子体験、高齢者疑似体験、視覚障がい者・点字体験、職場体験

見学：センター見学

実施校：尾鷲小学校、宮の上小学校、矢浜小学校、向井小学校、相賀小学校

尾鷲中学校、輪内中学校

・その他の福祉協力校活動の推進・支援

各種福祉関係行事への参加・募金や収集活動・清掃や地域の高齢者との交流など、具体的な取り組みに対する調整と助言を行った。

## 2. 小地域福祉活動事業

### (1) 地区福祉委員会の活動支援

#### ①地区福祉委員会座談会の開催

地区福祉委員会と社協との信頼関係の再構築と各種支援の見直しのため、座談会を通して、現場の活動状況の把握、問題の発掘と早期解決に努めた。

日付	地区	参加数
7月11日	早田町	7
7月12日	曾根町	8
7月15日	泉町	8
7月25日	中村町	10
10月27日	宮ノ上・座ノ下	13
10月28日	野地町	6
11月21日	宮ノ上・座ノ下	10
11月25日	三木里町	10
12月 2日	矢浜	10
12月 5日	梶賀町	7
1月27日	三木浦町	10

#### ②地区福祉委員会連絡会・地区福祉委員代表者懇談会の開催

小地域での住民同士の関係の大切さを再確認しながら、福祉委員同士の交流を目的として開催した。

##### ・地区福祉委員会連絡会

開催日：平成23年12月20日（火）

場 所：尾鷲市福祉保健センター 参加者：36名

内 容：質問・要望事項についてほか

ハンドマッサージ講習会（講師：salon HASU）

##### ・地区福祉委員代表者懇談会

開催日：平成24年1月26日（木）

場 所：尾鷲市福祉保健センター 参加者：14名

内 容：地区の課題、検討事項・外部団体の活用

世代間交流についてほか

#### ③活動助成金の交付

- ・前年度賛助会費から（社協会費50%）の助成
- ・基本助成（2万円）および下記の各活動に伴う助成金交付

④高齢者ふれあいサロン、あったかふれあい訪問活動、世代間交流事業への協力

(単位：回／名)

地区福祉委員会	サロン		訪問		世代間交流	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
三木浦	2	288	4	538	1	110
賀田	—	—	1	83	—	—
矢浜	—	—	2	349	—	—
倉の谷	1	36	2	126	1	59
中村町	2	66	3	235	—	—
三木里	—	—	3	245	—	—
古江	1	134	3	389	—	—
梶賀町	2	47	4	200	—	—
坂場	—	—	4	266	—	—
曾根	—	—	3	170	—	—
九鬼	2	151	1	185	—	—
宮ノ上座ノ下	8	236	2	128	2	169
泉	1	30	2	70	—	—
早田	1	55	4	251	—	—
須賀利	1	32	2	162	—	—
野地町	1	17	3	90	—	—
新田町	1	21	3	235	—	—
<b>【未結成地区】</b>						
北浦町	—	—	1	65	—	—
中井町	—	—	1	38	—	—
港町	—	—	1	40	—	—
23年度	サロン	12地区	23回	1,113名		
	訪問	20地区	49回	3,865名		
	世代間交流	3地区	4回	338名		
前年度	サロン	13地区	35回	1,610名		
	訪問	17地区	42回	3,301名		

⑤視察研修

多気郡多気町の五桂池ふるさと村・高校生レストラン「まごの店」を視察し、活動の内容や情報の共有、わが町の今後の課題、町おこしについて学んだ。

視察日：平成23年5月29日（日） 参加者：10名

(2) 地域交流事業（地域研修会：シニア事業）の実施（三重県社協共催事業）

地域のシニア世代（60歳以上）の方々に対して、いきいきと生活できるように健康づくりに着目して、研修会を行った。

開催日：平成23年11月18日（金）、12月16日（金）

平成24年 1月20日（金）

内容：「3B体操で10歳若返り」 参加者：28名

講師：日本3B体操協会 公認指導者 荒木 幸子 氏

### 3. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンターの効果的な運営

①市内ボランティア団体への情報啓発

②団体の活動しやすい、相談支援体制やボランティア団体の環境づくり

③安全な活動環境の支援のため、ボランティア活動保険および一事業開催ごとの  
行専用保険への加入促進と保険料の一部助成

（ボランティア活動保険 加入件数816名）

（ボランティア行専用保険 延べ37団体、61事業開催）

④ボランティアグループへの助成実施

（1団体2万円を12団体に助成。総額24万円）

⑤福祉施設協働事業の実施

紀北作業所夕涼み会への参加協力 平成23年8月25日（木）

(2) 災害ボランティア活動支援

①東日本大震災における、「みえ災害ボランティア支援センター」の支援協力

みえ災害ボランティア支援センターが実施する岩手県山田町での災害ボランティア活動の派遣について、広報・受付窓口・ボランティア保険加入手続き等を行った。

活動内容：浸水家屋の泥出しや家具の運搬など 参加者：12名

②台風12号三重県災害でのボランティアの呼びかけと情報発信等協力

熊野市・紀宝町の両社協と連携し、ボランティア派遣について、広報、ボランティア保険助成等支援した。（ボランティア保険助成人数 108名）

また、紀宝町においては、尾鷲市民にボランティアを募り、ボランティアバスを運行し、災害ボランティア活動を実施した。

日時：平成23年9月29日（日）

活動内容：浸水家屋の泥出しや家具の運搬など

参加者：21名

### (3) 各種行事の開催

子どもたちの夏休みを活用して、福祉上映会を開催し、社会福祉協議会事業のPRを行った。また、この上映会を成功させていくために、地域の個人ボランティアや、高校生ボランティアを巻き込み、開催することができた。

#### ① 夏休みこども行事（防災教育事業）

開催日：平成23年8月4日（木）まな・ぼうさい

参加者：34名

#### ② 子ども映画上映会の開催

開催日：平成23年8月9日（火） 午前午後の2回公演を実施

参加者：午前53名、午後83名

内 容：「ヒックとドラゴン」

ボランティア：23名（一般個人ボランティア、高校生ボランティア）

#### ③ 年末こども行事会

開催日：平成23年12月18日（日）

内 容：福祉映画上映会「トムとジェリーのくるみ割り人形」  
もちつき大会

参加者：90名、計32組（子ども51名、大人39名）

ボランティア：29名（高校生、婦人会、実習生ほか）

### (4) ボランティア団体支援・協力

#### ① 「声の広報やまびこの会」 伊賀市施設視察

ボランティア団体の技術向上のため、視察先への同行および調整のための協力を行った。

視察日：平成23年6月24日（金）

訪問先：社会福祉法人 伊賀社会事業協会

盲養護老人ホーム 梨ノ木園、上野点字図書館

参加者：やまびこの会 10名 職員2名

#### ② 介護事業施設職員・地域サロン活動担い手研修の開催

むっそうええ会梅本みち代氏の活動の共催で、広報・窓口として協力した。今すぐ使える効果的なレクレーションの素材・製作方法を学び、職場や地域活動の場で活かせるものを学んだ。

開催：平成24年2月14、21、28日 各午前と午後2回開催

参加者：事業所・施設12、地区福祉委員会4 計51名

### (5) 各種研修会参加による技術の習得

#### ① 市民後見ボランティア講座（三重県社協）

成年後見活動に必要な法律、福祉知識並びに実践内容を学び、ボランティア要素を含む市民後見人の必要性の認識を深めた。(計5回講座に参加)

#### ②ボランティアコーディネーター養成研修【実践編・災害】

「一復興支援、そのこれまでとこれから」 (三重県社協)

宮城県気仙沼市での災害ボランティアセンターの運営を通して、必要とされる支援また、協働型ボランティアセンターの可能性等について学んだ。

開催日：平成24年2月24日(金)

### 4. 実習生の受け入れ

社会福祉士学生の社会福祉現場実習の受け入れ 1名

### 5. 社協会員制度の推進

理事・評議員、民生委員児童委員、地区福祉委員、社協協力員などとの連携により、社協活動への参加・協力を呼びかけ、会員の確保に努めた。

	人数	金額	前年度
賛助会員	1,525名	1,683,000円	1,720,000円
特別会員	48名	345,000円	375,000円
団体等	1団体	20,000円	20,000円
総数	1,574名	2,048,000円	2,115,000円

### 6. 総合相談の維持

(1) 一般相談 各部門担当による、常時相談、電話相談、訪問相談

※高齢者・障がい者相談＝各相談センターにて実施集計

(2) 専門相談 法律相談(弁護士による)：毎月第3水曜に実施(年間相談件数26件)

### 7. 貸付事業(自立更生のための貸付事業)平成24年3月末現在

(1) 生活福祉資金(県社会福祉協議会)の貸付状況

① 23年度中の完済数：7件(うち教育支援費4件、緊急小口資金1件  
長期生活支援資金1件、福祉資金1件)

② 23年度中の新契約数：5件(うち緊急小口資金2件、教育支援費3件)



### ③継続返済数

- ・教育支援費 8件
- ・福祉費（障がい者自動車購入費）1件（障がい者住宅改修費）1件
- ・技能習得費 1件

### （2）福祉金庫の貸付（平成24年3月末現在）

- ①新規緊急貸付 11件（前年度4件）
- ②昨年に引き続き返済滞納者および保証人に対する、現状の生活状況の返済へ意思等の相談助言を訪問来所等によって実施し強化を図った。

未納者の状況	人数
全返済滞納者数	25名
①指導直後、本人や家族、保証人によって償還し、完了した方	6名
②指導によって当会として、返済が可能な状況と判断できた方	12名
*②のうち「定期償還を約束し、毎月決まった日に集金もしくは来所で償還している方」	(1名)
*②のうち「不定期ではあるが、集金もしくは来所で償還している方」	(5名)
*②のうち「定期償還を約束したが音信不通や諸事情により中断してしまった方」	(6名)
③保証人によって定期償還が開始された方	2名
④体調不良や諸事情により当会が了承して、経過観察又は保留の方	3名
⑤詳細が全く掴めず、調査中の方	1名
⑥所在が明らかになったが、かなり遠方なので、対応に苦慮している方	1名

上記の①②③等によって、指導強化を開始した24年3月末まで  
返済総額 334,000円

## 8. 援護事業の実施

### （1）災害に対する援護事業

- ①火災被害への対応 1件（支給品：毛布・タオルケット各2枚、日用品1箱）
- ②水害被害への対応 8件（支給品：日用品各1箱）

### （2）すこやか事業（児童支援事業）

保育園・幼稚園児のすこやかな成長を願い、5月5日のこどもの日にちなんで菓子の贈呈した。対象者 547名（前年度537名）

### （3）小学校卒業記念品贈呈事業（一人親支援事業）

一人親家庭小学校卒業生に対する激励 対象者 40名（前年度 33名）

## 9. 日本赤十字事業への協力

自治会・奉仕団（婦人会ほか）などの協力で、次のように赤十字運動を推進した。

### (1) 募金運動の推進 平成23年5月1日～5月31日までの1ヶ月間実施

	平成23年度	前年度	前年比較
目標額	3,198,000円	3,211,000円	▲13,000円
実績額	2,785,639円	2,760,000円	25,639円
達成率	87.1%	85.95%	

### (2) 赤十字救急法の開催

開催日：平成23年7月23日・24・30日 計3日間

場 所：尾鷲市福祉保健センター

受講生：21名

## 10. 福祉団体活動支援

当事業者団体の「身体障がい者互助会」の年間活動行事の充実や活動強化に協力をした。

## 11. 各種大会の開催

### (1) 第23回尾鷲市社会福祉大会の開催

開催日：平成23年11月5日（土）

場 所：尾鷲市中央公民館

参加者：約150名

〔第一部：顕 彰〕

- ・尾鷲市長表彰 社会福祉施設・社会福祉団体功労者 6名  
社会福祉活動優良地区および団体 1団体
- ・尾鷲市社会福祉協議会長表彰 社会福祉施設・社会福祉団体功労者 12名  
社会福祉活動優良地区および団体 1団体  
一般協助者 1名

〔第二部：実践発表〕

- ・辯天宗尾鷲教区 岩崎 剛久氏  
「災害時ボランティア活動で感じたこと」
- ・尾鷲市社会福祉協議会 山本 雄一  
「社協職員としての被災地支援」

## (2) 尾鷲市ふれあいスポレク祭2011の開催

地域の障がい者の地域交流の強化に取り組んだ。

開催日：平成23年10月16日（日）

場 所：東紀州くろしお学園尾鷲分校体育館

参加者：250名

内 容：各種目の実施、模擬店・販売

協力団体：市内ボランティア団体、市内福祉協力校、尾鷲市連合婦人会、  
管内障がい者支援施設・作業所、民生委員児童委員協議会 ほか

## 12. 子育て支援事業

各関係機関を情報の共有と協働を図り、地域に住む子育て世代の住みやすい街づくりをめざすために行った。

①子育てグッズ 無料レンタル（チャイルドシート、ベビーカー、ベビーベッド）

②子育て応援 リサイクル（自宅で不要になった物品の仲介）

③子育てママの仲間づくりや遊び場としての、児童コーナーの自由開放デー開催  
第2土曜日(13:30～15:00) 第4月曜日(9:30～11:00)に実施

④各種行事の開催

パパママ安全講習会の開催（託児付講習会）

「万が一の子供の事故や急病に備えた応急手当」の講習会開催。

開催日：平成24年3月18日（日）

場 所：尾鷲市福祉保健センター

講 師：日本赤十字社職員

協 力：尾鷲市連合婦人会5名（託児ボランティアとして）

参加者：8名

⑤福祉本・子育て情報コーナーの充実と絵本の貸出

1階の市民ロビーに情報コーナーを設置し、市内の子育て情報の周知、福祉本や絵本の貸出などを行った。

⑥子育て担当者懇談会の開催

開催日：平成23年5月12日（木）、平成24年1月31日（金）

場 所：尾鷲市福祉保健センター

参加者：尾鷲市役所福祉保健課・生涯学習課、尾鷲民生事業協会、  
尾鷲市立尾鷲幼稚園

### 13. 尾鷲市福祉保健センターの利用促進と効果的な運営

福祉・保健活動の総合拠点施設として、研修や交流、健康づくり、市民の社会参加の場として、市民が利用しやすい環境を整備し、センターの管理運営を適正に行った。

#### 尾鷲市福祉保健センター利用実績

(単位：回数/名)

	利用回数	利用数
4月	168	4,513
5月	163	3,086
6月	198	3,485
7月	183	3,439
8月	220	5,019
9月	211	3,734
10月	248	4,433
11月	240	5,184
12月	207	3,839
1月	206	3,843
2月	245	4,223
3月	259	4,832
延べ	2,548	49,630
前年度	1,995	38,076

(平成23年度は尾鷲市小学校改修工事に伴い、学童保育「わんぱく教室」の仮設による実績が増加した。)

### 14. その他の事業

(1) 広報啓発活動の実施(市広報誌や新聞を通じた広報活動)

- ①社協だよりの発行(年4回、各11,800部)
- ②ホームページの作成

## 1 5. 地域福祉権利擁護事業の受託実施

地域包括支援センター、障がい者総合相談支援センター及び市内の他関係機関と連携を取り、積極的な対応を心掛けた。利用者とは信頼関係の構築を継続し、安心できる適切な金銭管理・書類預かりサービスを実施した。

平成23年度実績

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合 計	前年度
相談件数	97	115	45	135	392	236
新規契約	1	3	1	1	6	5
解約件数	2	0	0	1	3	5

利用者人数（平成24年3月31日現在）

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度
契約件数	5	16	8	6	35	32

## Ⅱ 総合相談・支援部門

### 1 地域包括支援センター（受託事業）

（職員体制）

代表者	1名
管理者	1名
保健師	常勤2名
社会福祉士	常勤2名（1名はケアプラン作成専属）
主任介護支援専門員	常勤2名（1名は管理者兼務）
介護支援専門員	常勤1名
事務補助員	常勤1名

#### 1. 包括的支援事業

尾鷲市の高齢者が住み慣れた地域で、健康で生きがいのある生活を維持できることを目指して、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な支援を行なった。

##### （1）総合相談支援

###### ①総合相談窓口の設置

相談内容に応じたサービスや制度の利用支援・情報提供及び関係機関等の紹介等対応を行なった。

相談受付件数：平成23年度402件 前年度341件

相談区分集計〈延べ件数〉

	介護・日常生活等	サービス利用等	医療に関する内容	所得等に関する	その他	苦情等	権利擁護に関する	合計
累計	334	140	18	10	5	20	9	536

###### ②地域ケア会議の運営

尾鷲市から委嘱された委員により、介護予防・生活支援サービスや地域ケアの総合調整を推進するため地域の高齢者の生活状況について地域との関わり、権利擁護等さまざまな面から現状を把握し意見交換や検討を行った。今後は尾鷲市で充実させていくべき「地域包括ケア」の体制を考えるため、高齢者を支える生活支援サービスの現状についての情報を集約し、課題を含む報告書の作成を行っていく方向等を検討した。

地域ケア会議の運営（6回開催）

	開催月日	協議内容
第1回	5月17日	① 地域ケア会議委員委嘱状授与 ② 委員自己紹介及び所属機関についての紹介 ③ 住民ネットワーク（つながり）の基盤づくりについて
第2回	7月22日	① 住民ネットワークの基盤づくりについて
第3回	9月20日	① 高齢者虐待について ② 若年認知症の方の支援について ③ 高齢者の権利擁護について
第4回	11月24日	① 高齢者の権利擁護について 事例紹介
第5回	H24年 1月18日	① 軽度の支援を要する人の生活支援について 事例紹介
第6回	3月22日	① 高齢者の生活支援について ② 平成22～23年度のケア会議の振り返り ③ 平成24年度のケア会議について

（2）権利擁護業務

①高齢者虐待への対応・防止

イ．高齢者虐待相談窓口の設置

基幹となる尾鷲市福祉保健課と共同で高齢者虐待についての相談窓口を設置し相談の対応を行った。

ロ．高齢者虐待相談の受理

平成23年度受理件数 5件（うち認定4件）前年度13件

内訳（重複あり）	身体的虐待	2件
	心理的虐待	0件
	経済的虐待	2件
	性的虐待	0件
	介護放棄	2件

ハ. 高齢者虐待への対応

受理した虐待相談について、基幹となる尾鷲市福祉保健課とともに事実の確認や課題の整理、虐待解消に向けての提案及び関係機関との調整を行った。

②認知症高齢者への支援

イ. 認知症サポーター養成講座 平成23年度238名 前年度434名

	開催月日	参加人数	場 所
第 1回	5月30日	13	尾鷲市福祉保健センター
第 2回	9月13日	29	尾鷲市福祉保健センター
第 3回	9月27日	13	大曾根コミュニティーセンター
第 4回	9月28日	11	行野浦公民館
第 5回	10月18日	17	泉集会所
第 6回	10月25日	25	林町会館
第 7回	10月28日	12	尾鷲市中央公民館
第 8回	11月16日	32	坂場クラブ
第 9回	11月24日	5	コミュニティーセンター林
第10回	11月30日	17	高町会館
第11回	12月 9日	13	尾鷲市福祉保健センター
第12回	2月21日	8	コープみえ紀北センター
第13回	2月22日	19	福祉保健センター
第14回	3月14日	16	尾鷲郵便局
第15回	3月21日	8	国市集会所
合 計		238	

ロ. 認知症介護に関する講演会

開催月日：5月30日

講師：認知症と家族の会 泉 美幸氏

参加者：43名

場所：福祉保健センター4階多目的ホール

ハ. 見守りネットワークの構築

- ・徘徊の恐れのある認知症高齢者を地域で支えるため認知症高齢者の情報や対応方法を記載した「見守りお願いシート」を作成、近隣や商店等に配布し個別の見守り体制を築く。
- ・徘徊の恐れのある認知症高齢者の情報を「認知症高齢者見守り連絡票」に記載し尾鷲警察署に登録を行い、警察に保護されたあと速やかに自宅に戻せるよう支援する。



③福祉制度等の活用

イ. 地域福祉権利擁護事業の活用

相談の結果、地域福祉権利擁護事業の利用調整（相談斡旋を含む）を行った  
平成23年度 0件 前年度 3件

ロ. 成年後見制度の活用

相談の結果、成年後見制度の利用援助（情報提供、申立支援、斡旋を含む）を行った  
平成23年度 1件 前年度 4件

ハ. 講師の派遣

開催月日	内 容	参加人数	場 所
5月12日	介護予防に関する講話	60	福祉保健センター2階
10月26日	高齢者の人権について	19	矢の浜公民館
11月10日	福祉サービスについて	17	倉の谷集会所
11月18日	介護保険サービスについて	6	須賀利公民館
11月25日	認知症と予防について	13	尾鷲商工会議所3階
1月18日	高齢者の人権について	24	中央公民館
3月28日	介護予防に関する講話	32	須賀利公民館

(3) 包括的、継続的ケアマネジメント支援

①ケアマネジャー支援

ケアマネジメント力を高める取り組みとして居宅介護支援事業所連絡会議において事例検討及び研修会を開催した。

居宅支援事業所連絡会議 (4回開催)

	開催月日	参加人数	内 容
第1回	4月21日	19	① グループ討議（テーマ別に分かれての意見交換） テーマ（地域ニーズ、介護保険で対応できないニーズ） ② 情報交換会
第2回	7月14日	18	① 認知症高齢者を見守るネットワークの取り組み ② 見守りを必要とする認知症高齢者について意見交換 ③ 地域に不足する社会資源について（まとめ）
第3回	10月20日	21	① 事例検討会 事例A 障害のある息子と二人で生活する78歳の女性 事例B 判断能力に欠ける家族介護のターミナル利用者 ② 介護保険以外のサービスについて

第4回	H24年 1月19日	20	① 勉強会 障害基礎年金・高額療養費支給制度について ② 認知症高齢者の支援について
-----	---------------	----	--

居宅介護支援事業所のケアマネジャーが抱える困難事例等の相談支援を行なった。

件数：平成23年度 48件 前年度38件

(4) 介護予防ケアマネジメント

介護予防事業、予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なケアマネジメントを行い、介護予防ケアプランの作成等必要な支援を行なった。

①要支援1・2の介護予防支援

予防プラン作成および給付管理数

平成23年度 合計2,444件 前年度 合計2,466件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
(認定者数)	(60)	(46)	(59)	(49)	(57)	(50)	
地域包括支援センター	141	136	140	134	131	135	
委託事業所	74	71	79	74	72	73	
合計	215	207	219	208	203	208	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
(認定者数)	(41)	(53)	(39)	(44)	(43)	(44)	(585)
地域包括支援センター	141	135	133	124	122	128	1,600
委託事業所	73	69	66	66	62	65	844
合計	214	204	199	190	184	193	2,444

②二次予防事業対象者への介護予防支援

尾鷲市が実施した65歳以上の方への基本チェックリストにより二次予防事業の対象となり事業に参加を希望された方への事業内容の説明、健康相談等を実施し事業の利用支援を行った。

平成23年度114件 前年度110件

事業内容	参加人数	備 考
通所介護予防事業（運動器・うつ・認知症・閉じこもり予防）	26	運動器・閉じこもり予防 うつ予防の複合プログラム
訪問型介護予防事業	8	パンフレットを用いた運動指導、介護相談対応、相談窓口や二次予防事業の周知
電話での情報提供	78	通所型二次予防事業の紹介 生活機能評価の説明
介護保険申請支援	2	
合 計	114	

## 2. 任意事業

### (1) ケアプラン点検事業

紀北広域連合主催のケアプラン点検事業に主任介護支援専門員(2名)が2回参加した。

### (2) 家族介護支援事業

要介護高齢者を介護する家族の精神負担の軽減と介護者同士の情報の交換を目的にした交流会の開催及び介護者及び介護職員を対象に介護技術についての研修会を開催した。

#### ①介護者の会の開催

介護者の会                      平成23年度    25名                      前年度    87名

	開催月日	参加人数	内 容
第1回	5月19日	9	① 介護者同士の交流会
第2回	8月18日	3	① 介護者同士の交流会
第3回	11月17日	10	① 介護者同士の交流会 ② ランチバイキングでの交流会
第4回	H24年 2月16日	3	① 介護者同士の交流会
合 計		25	

(3) 福祉用具・住宅改修支援事業

①福祉用具の利用支援

福祉用具の利用についての助言や購入支援を行った。

福祉用具購入支援者 平成23年 18名 前年度 12名

②住宅改修の利用支援

住宅改修に関する助言や理由書等の必要書類の作成

住宅改修利用支援 平成23年度 38名 前年度 50名

### 3. その他

(1) 研修会への参加

- ・各専門職に対する研修会等

(2) 会議への参加

- ・地域包括支援センター運営協議会
- ・三重県地域包括支援センター連絡会議
- ・運営推進会議

地域密着型小規模特別養護老人ホーム：2カ所

認知症対応型共同生活介護：4カ所

- ・養護老人ホーム入所判定委員会

(3) 定例ミーティングの実施（地域包括支援センター内での打ち合わせ）

- ・新規相談ケースについての検討会
- ・各自担当ケースについての報告・相談
- ・各事業の進捗状況の確認及び調整

(4) 困難事例等の検討会議の開催

- ・会議開催件数：平成23年度22件

## 2 紀北地域障がい者総合相談支援センター（受託事業）

（職員体制）

管理者（保健師・精神保健福祉士）	常勤 1 名
保育士	常勤 1 名
社会福祉士・精神保健福祉士	常勤 1 名
社会福祉士	常勤 1 名
保育士	非常勤 2 名
介護福祉士	非常勤 1 名

### 1. 紀北圏域障がい者地域生活相談支援事業

#### （1）相談支援事業

「障がい者のライフステージに応じた生活を支援するために、福祉サービスの利用援助（情報の提供、日常生活の相談・援助等）を障がい者の身近な地域で行う。また、個人が尊重され、地域で安心した生活を継続できるようにするために、関係機関と連携を図り、障がい者の福祉の向上並びに自立支援を行う。」という基本方針のもとで、本人・家族および関係者からの相談を受け、訪問活動、来所相談、電話相談等を実施した。当支援センターの特徴として、地域に療育センターがないために実施しているすまいる教室で、幼少期からかかわりを持つことで、その後の相談につながりやすく、修学時期を終えて地域に戻る時に日常生活や就労等の支援がスムーズに継続されるメリットがあると考え

平成 23 年度の相談者の実数は、平成 22 年度より 8 名増加して、尾鷲市・紀北町で 181 名であった。また、登録者数は 10 名増加し、130 名となった。

（年間相談者実数および登録者数）

対象者	実人員	身体 障がい	重症心身障 がい	知的 障がい	精神 障がい	発達 障がい	高次脳機 能障がい	その他
障がい者	119	21	1	36	56	2	2	1
障がい児	62	5	1	18	0	35	0	3
計	181	26	2	54	56	37	2	4
昨年度増減	(+8)	(±0)	(±0)	(+13)	(-1)	(-1)	(+2)	(-5)
登録者数	130	20	1	34	32	38	2	3
（削除数）	（4）	（1）			（1）		（2）	

支援方法別の相談のべ件数（4名相談員分）

対象者	訪問	来所相談+ すまいる教室	同行	電話相 談	電子 メール	その他	計
尾鷲市分	198	148+349	55	285	5	77	1117
紀北町分	104	68+107	22	565	32	57	955
今年度実績	302	216+456	77	850	37	134	2072
昨年度実績	327	159+626	86	287	9	84	1578

相談のべ件数では、「電話相談」が大きく増加した。その原因は、精神科病院から退院して1人暮らしを始めたケースの電話回数が、1名で年間360回と多くなったためであるが、現在も再入院せずに地域生活が続いているので、ひとつの支援の形と考える。「来所相談」が増えているのは、地域活動支援事業（各教室やサークル）の中での相談も計上することにしたことによる。「すまいる教室の来所人数」は、平成22年度に大きく増えたが、平成23年度は元に戻り、170件の減少となった。

「訪問相談」は、訪問回数が多かった利用者の転出や入院、家族の死亡により訪問希望が減少したこと等の理由と考えるが、地域を回って、相談の必要な方を探し出すことも支援センターの役割と考えるともっと積極的に訪問していかなければならない。また、地域自立支援協議会の活動に力を入れ、年間16回の集いと18回の運営部会を実施してきたことも一つの原因と考える。

支援内容（のべ件数）

	述べ件数	尾鷲市	紀北町
福祉サービスの利用に関する支援	272	167	105
障害者症状の理解に関する支援	267	105	162
健康・医療に関する支援	197	124	73
不安の解消・情緒安定に関する支援	595	162	433
保育・教育に関する支援	96	61	35
家族関係・人間関係に関する支援	210	76	134
家計・経済に関する支援	130	71	59
生活技術に関する支援	135	90	45
就労に関する支援	141	65	76
社会参加・余暇活動に関する支援	1094	650	444
権利擁護に関する支援	9	7	2
その他	196	34	162
計	3342	1612	1730

ケース会議・個別支援計画作成状況

対象者	身体障 がい者	知的障 がい者	精神障 がい者	児童(含療 育計画)	重症心身障 がい児・者	計
ケース会議のべ件数	8	7	15	28(26)	1	59
うちサービス調整会議	5	5	4	1(0)	0	14(0)
計画作成検討実数	5	2	3	0(+26)	1	11(+26)
個別支援計画作成数	3	0	1	0(+26)	1	5(+26)
昨年度会議件数	10	8	14	0(37)	0	69
個別支援計画作成数	2	0	4	0(37)	0	6

相談者のニーズを多方面から適切に把握し課題解決するために、個別支援計画の作成に取り組んだが、年間5件にとどまり、ケース会議をふまえて作成完了することが徹底できなかった。

◇コミュニケーション支援・盲導犬活用支援

①視覚障がい者 IT 講習会のフォローアップ・・・今年度は、希望がなかった。

②点訳依頼のコーディネート・・・今年度は、要請がなかった。

③盲導犬活用支援

盲導犬を導入された方に対して、盲導犬訓練士の方々と歩行訓練等支援や訓練場所の提供を行った。今後も地域内での盲導犬活用への理解の促進、協力を呼びかけを行なっていきたい。

(2) 地域自立支援協議会の部会運営および実態把握・サービス開拓業務

平成23年度は、当事者・家族・支援者のそれぞれの願いや希望、心からの気持ちを出し合ってもらった意見を「くらし」「相談・ネットワーク」「セーフティネット」などに分類した。意見から導き出す課題の解決策の検討を進めるために、部会設立のための集いを表のとおり、1年を通して行った。

「みんなが声を出して、仲間と一緒に自分たちがつくる町～自分たちが動く～」を実現するために、何に取り組むかを検討した結果、「災害」「事業所の連携」と決めて活動を続けた。「災害」については、地域内の3か所で実際の避難経路を歩く訓練を実施した。「事業所の連携」では、今あるサービスを知りあうために、地域の事業所の一覧表「しえんのわ」を作成した。

平成 23 年度 部会の集い

会議	日時・場所	メンバー（人数）
第 1 回	H23 年 5 月 21 日 尾鷲市中央公民館	当事者（6）家族（5） 支援者（13）
第 2 回	H23 年 6 月 18 日 尾鷲市福祉保健センター	当事者（4）家族（7） 支援者（10）一般（5）
第 3 回	H23 年 7 月 2 日 尾鷲市福祉保健センター	当事者（6）家族（9） 支援者（9）一般（2）
第 4 回	H23 年 7 月 18 日 尾鷲市福祉保健センター	当事者（7）家族（5） 支援者（6）一般（3）
第 5 回	H23 年 9 月 10 日 尾鷲市福祉保健センター	当事者（4）家族（5） 支援者（7）一般（1）
第 6 回 相談部会	H23 年 10 月 8 日 尾鷲市福祉保健センター	家族（4） 支援者（3）一般（2）
くらし部会	H23 年 10 月 15 日 尾鷲市福祉保健センター	当事者（4）家族（2） 支援者（5）一般（2）
第 7 回 相談部会	H23 年 11 月 12 日 尾鷲市福祉保健センター	当事者（2）家族（2） 支援者（6）一般（3）
くらし部会	H23 年 11 月 12 日 尾鷲市福祉保健センター	当事者（3）家族（2） 支援者（6）一般（3）
第 8 回 くらし部会	H23 年 12 月 3 日 尾鷲市福祉保健センター	当事者（5）家族（4） 支援者（5）
相談部会	H23 年 12 月 10 日 尾鷲市福祉保健センター	家族（1） 支援者（7）一般（1）
第 9 回 相談部会	H24 年 1 月 21 日 尾鷲市福祉保健センター	当事者（2）家族（3） 支援者（5）一般（1）
くらし部会	H24 年 2 月 4 日 尾鷲地区・相賀地区・引本地区	当事者（5）家族（2） 支援者（1）一般（1）
第 10 回 相談部会	H24 年 2 月 11 日 尾鷲市福祉保健センター	家族（4） 支援者（4）
くらし部会	H24 年 2 月 11 日 尾鷲市福祉保健センター	当事者（7）家族（3） 支援者（4）
第 11 回 合同部会	H24 年 3 月 10 日 尾鷲市福祉保健センター	当事者（2）家族（4） 支援者（8）



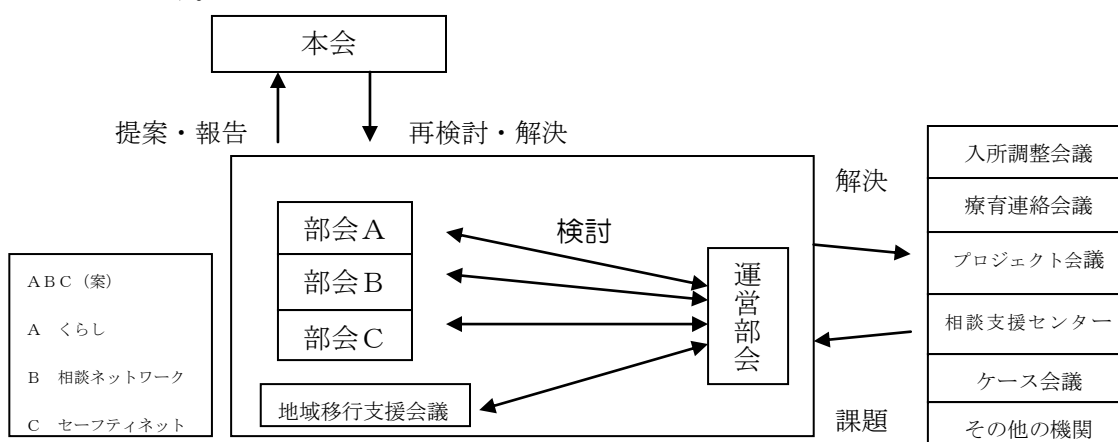
障害をもつ方が地域で生活をするための課題を検討するのも、解決策を考えるのも、当事者が入って意見を聞きながら行っていくことが重要と考える。時間や手間がかかるが、この方法で今後も続けていき、自分たちの力で課題解決をしることを体験したい。

【自立支援協議会のイメージ図】

本 会：全体報告と確認の場。長期目標として取り組むものに関しては、福祉計画等へ協議会の意見を反映していく役割。

部 会：それぞれのテーマに沿った地域課題・ニーズ等について方向性を見出し、それに対する様々なアイデアや事業案を協議する場。

運営部会：各部会の相談・ニーズ・課題等の具体的な解決策とその優先順位、役割分担等を整理、検討する場。



(3) ピアカウンセラー・ピアサポーター活動支援事業 (自主事業)

平成19年度および平成20年度に養成したピアカウンセラー・ピアサポーターが地域で暮らす障がい者に対して、支援活動を行うための体制づくりや助言を行う。さらには、社会資源の少ない紀北地域での地域生活支援の担い手として定着させる。また、本人にとっては就労の機会とする。平成23年度も引き続き、次の活動に取り組んだ。

- ① 月1回程度、支援センターの準スタッフとして、入院中の利用者の面会や外出に同行したり、特技を活かして障がいを持つ人をサポートする活動

面会や外出支援8回、家の補修や掃除2回、サロンのポスター作成1回実施

- ② 紀伊長島地区での日中の居場所づくりとして、すずらんサロンの世話人をする活動

すずらんサロンは、第2火曜日の午前10時から午後2時半まで、東長島公民館で実施。世話人と利用者を合わせた当事者の参加は12回で42名、平均3.5名だった。世話人は、当日の進行や参加者への気配り、日誌の記入、次回の献立や午後の内容を決めた。

また、尾鷲市輪内地区の利用者の希望により、12月に古江公民館で同様のサロンを実施し、地元利用者2名、世話人3名、スタッフ1名が参加した。

## 2. 障がい児等療育支援事業（三重県委託事業：尾鷲市社会福祉協議会受託）

平成23年度は、すまいる教室の充実として、りすグループ（幼児グループ）きりんグループ（小学生グループ）を、2週に1回から、毎週実施にし、療育回数の増加に取り組んだ。関係機関への療育物品の貸し出しについても、必要に応じて、依頼に応じた。

発達障がいの早期対応の取り組みとして、尾鷲市の保健・福祉・教育の担当者からなる「チームおわせ」の保育所巡回相談には、引き続き参加した。

### （1）すまいる教室の充実の内容

- ① 2グループの毎週実施の取り組み
- ② カンファレンスや運営会議によるスタッフの視点の統一
- ③ 言語聴覚士による指導の継続
- ④ 風の広場事業による療育内容の充実
- ⑤ 療育連絡会議の開催による「すまいる教室」の周知と協力依頼
- ⑥ 関係機関訪問による連携の充実
- ⑦ 療育物品の活用

### （2）障がい児担当コーディネーター活動の定着の内容、

- ① プロジェクト活動等による地域生活の問題点の把握と検討
- ② 福祉サービスの利用相談の対応
- ③ 乳健委員会への参加による支援対象児の把握
- ④ チームおわせへの参加
- ⑤ 草の実検診やなでしこ重心通園事業への参加とその紹介
- ⑥ 個別療育・音楽教室・絵画教室などの地域資源の活用状況の把握
- ⑦ おもちゃ図書館活動の推進

すまいる教室の参加状況

	実人数	のべ人数
尾鷲市	16	349
紀北町	9	107
計	25	456

相談利用者の年齢（H24年3月時点）

	人数
～2歳未満	0
2～3歳未満	4
3～4歳未満	6
4～5歳未満	3
5～6歳未満	2
6～7歳未満	3
7～10歳未満	2
10～12歳未満	5
12～18歳未満	0
計	25

相談利用者（すまいる教室含）の障がいの状況

主に身体障害	3
主に知的障害	7
広汎性発達障害	15
その他	0

### 3. 日中一時支援事業（尾鷲市の委託事業：尾鷲市社会福祉協議会）

平成20年の夏より、夏休み・冬休み・春休みの長期休暇において、家庭外での居場所が必要な障がい児に対して、日中一時支援サービスを提供しており、小学校・中学校卒業後の春休み期間にも対応した。現在のところ、全員がすまいる教室に通っていた利用者のため、利用しやすいと思われる。定時に来れなかったり、急に来れなかったりする障がい特性もあり、全員で行う内容が組み入れにくい状況があること、スタッフと利用者が1対1か1対2の濃厚な支援体制が必要であること、人数の増加により事務量も増えていること等により運営が難しくなっている。

午後12時30分から4時30分（準備・片づけを含む）、重度障がい児童対象。  
 利用者の1割負担実施。（1日300円）。内容は、預かり保育。  
 平成23年度の利用者は、中学生～高校生の11名（必要に応じ週1回～5回利用）

### 4. 地域活動支援事業（各種教室や当事者会の活動支援）

平成23年度の各種教室や当事者会を下記の通り実施した。

福祉保健センターのロビーと配膳室を使って、会員の昼食を作り、障がいのあるメンバーが接客の訓練を実施するサロン「はあと畑」は、順調に週に1回月曜日に開設されている。

#### ① 元気会（視覚障害者リハビリ教室）

月2回 第2、第4金曜日の午後、尾鷲市福祉保健センターにてリハビリ教室を開催し、視覚障がい者の方々の運動を支援。イチゴ狩りなどの外出行事も行った。

開催22回 のべ参加人数 55名（実人数 5名）

② 歩行訓練（社会参加事業で実施）

月 1 回 歩行訓練士による生活訓練が必要な視覚障害者に対して、白杖を使った歩行訓練を行う。パソコン、点字の指導もできる。

開催 12 回（のべ 20 名）（実人数 2 名）

③ ウィークエンドサークル

月 1 回 原則第 4 土曜日に、当事者活動を実施した。ヘルパーを利用して参加している方も多い。土日の日中活動の場として、定着している。

開催 9 回 のべ参加人数 216 名

（知的 192 名、身体 15 名、精神 5 名、児童 6 名）

実人数 49 名（知的 42 名、身体 3 名、精神 2 名、児童 2 名）

④ フラワーアレンジメント教室

月 1 回 原則第 4 水曜日に、尾鷲市福祉保健センターボランティア室にて、池田比早子先生に依頼して実施。年に一度、福祉保健センターロビーにて作品発表をしている。

開催 12 回 のべ参加人数 123 名

⑤ 音楽教室

月 1 回 原則第 2 土曜日に、尾鷲市福祉保健センターにて、癒しの会主催で、新宮在住の音楽療法士の福田朝子先生に依頼して実施しているので、協力した。

開催 11 回 のべ参加人数 113 名

⑥ おもちゃ図書館

月 1 回 第 2 土曜日に、障がい児等の遊び場の開放とおもちゃの貸し出しを行う。

開催 12 回 のべ利用人数 254 名（うち障がい児 35 名）

⑦ その他

尾鷲市・紀北町の「障がい者スポーツ大会」、紀北町の地域交流会、くろしお学園運動会、紀北作業所夕涼み会等に参加した。

はあとの会活動に協力参加した。年間 14 回参加（のべ 94 名）

## 5. 就業・生活支援事業（三重県委託事業：紀北作業所受託）

公立の知的障がい者授産施設である紀北作業所を中心に、地域の 3 障がいの就業・生活支援として、一般就労支援の他、資格取得や職場体験の支援・就労のための生活支援等を実施している。平成 23 年度も、前年度に引き続き、就労継続 A 型および B 型事業所を含めた障がいの者の就労支援に取り組んだ。就労に関する全般の相談を広域で実施し、紀北地域の障がい者就労の促進に努めた。

## 6. ジョブサポーター事務局運営事業（三重県委託事業：尾鷲市社会福祉協議会）

三重県が指定したジョブサポーター養成講座を修了した者が、有償ボランティアとしてジョブサポート活動を実施することを支援し、障がい者の雇用促進、職場定着を図る。具体的には、ジョブサポーターの派遣事務、活動支援、打ち合わせ会議の開催、支払いなどを行う。平成23年度のジョブサポーターの事業所等への派遣回数、1名の障がい者に対して1名のジョブサポーターがのべ9回出向いて指導や調整を行った。今年度は新たにジョブサポーターを1名養成した。

## 7. 地域移行支援事業（退院促進事業）（三重県委託事業：紀南会オレンジ受託）

精神障がい者の長期入院者の中で、環境を整えば地域生活が可能である方々の地域生活への移行を支援する。紀北地域では、熊野病院オレンジが受託し、そのコーディネーターと地域移行推進員が、週に3回活動を行っている。

平成23年度の活動状況として、新規登録者が4名あり、平成22年度からの登録者数は8名となった。その中で、退院は5名（在宅2名、共同住居3名、再入院1名）であった。残り3名の方は、今後の地域移行支援事業の利用が見込まれる。

また、平成22年度から、地域移行連絡協議会で地域の受け皿として、グループホーム設立の話し合いを持ち、具体的な検討を行っている。

### （1）活動内容

- ①病院訪問支援（面談など）
- ②外出同行支援（買い物、公共交通機関利用など）
- ③福祉施設等見学利用同行支援
- ④啓発研修の開催
- ⑤地域移行支援協議会の開催

### （2）来年度以降の課題

- ①地域移行支援協議会の中でグループホームの設置に関する検討や日中の活動の場の確保などの検討を続ける。
- ②地域でのネットワークを強化し、緊急時に早期に対応できる体制を整備する。
- ③個別支援会議を開催し、情報・支援計画の共有をはかる。
- ④精神障がい及び地域移行に関する啓発活動を行う

### Ⅲ 介護サービス部門

#### 1 居宅介護支援事業所

介護保険の指定居宅介護支援事業所として、居宅での介護サービスやその他の福祉サービス、保健医療サービスが適切に利用できるよう、利用者自身の立場でその有する能力に応じて、自立した生活を送るための公正中立な支援を行った。

(職員体制)

介護支援専門員 8名（専任 7名、兼務 1名）  
事務職員 1名  
(計9名)

(1) 業務内容

- ①居宅サービス計画（ケアプラン）の作成
- ②介護保険要介護・要支援認定申請代行
- ③利用者、サービス事業者との連絡調整
- ④介護に関する相談・助言
- ⑤その他の苦情や問い合わせ
- ⑥介護保険外の福祉サービスや福祉制度の利用援助
- ⑦介護保険施設への紹介
- ⑧国保連への給付管理及び介護報酬の請求（訪問介護・訪問入浴・通所介護）

(2) 申請実績

申請者数	平成23年度	前年度
介護保険新規申請者数	28名	30名
介護保険更新申請者数	247名	281名
予防給付新規申請者数	5名	9名

(3) 住宅改修支援事業請求実績

事業名	平成23年度	前年度
住宅改修支援事業	2名	3名

(4) 月別請求額

居宅介護

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
請求件数	194	191	198	202	194	190
決定金額	2,837,000	2,765,000	2,875,500	2,948,500	2,832,500	2,777,500

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
190	196	194	187	186	187	2,309
2,776,000	2,857,000	2,833,500	2,750,500	2,746,500	2,741,500	33,741,000

※前年度 2,411件 35,112,000円

※月遅れ請求分は含まない。

介護予防

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
請求件数	11	11	12	10	9	10
決定金額	47,820	47,820	51,940	41,200	39,580	41,200

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10	10	9	9	8	9	118
43,700	41,200	37,080	37,080	32,960	37,080	498,660

※前年度 107件 463,340円

※月遅れ請求分は含まない。

居宅介護の請求件数が平成22年度に引き続き平成23年度も減少となっています。今年度もグループホームや特別養護老人ホームへの入所による減少が続いたのが要因です。

介護を必要とする利用者の多くは老々介護や、介護者が就労している為、現在の介護保険制度では、在宅サービスの制限が多く、主に家事援助の部分で介護負担が大きくなっており、将来を見込んでの施設入所を前提とした契約が増えていることが、施設を持たない当会への新規依頼減少の要因のひとつとして考えられます。また新規依頼件数が、死亡件数、入所件数を下回っている事も要因のひとつとして考えられます。

3年ほど前より認定審査会の判定が厳しくなり、要介護認定が要支援に下がる利用者が増えたことによる減少も要因のひとつとして考えられます。その結果として、介護予防は、利用者数、収入ともに前年度を上回っています。

## 2 訪問介護事業所

(職員体制)

職 種	常 勤	非常勤	職務の内容
1. 管理者	1	0	管理業務
2. サービス提供責任者	6	0	訪問介護サービスの調整
(1) 介護福祉士	6	0	
(2) ヘルパー2級課程修了者	0	0	
3. 訪問介護員 (ホームヘルパー)	11	42	訪問介護サービスの提供
(1) 介護福祉士	8	20	
(2) ヘルパー1級課程修了者	0	0	
(3) ヘルパー2級課程修了者	3	22	
4. 事務職員	1	0	

### 1. 介護保険対象の居宅介護サービス事業

#### (1) 訪問介護・介護予防訪問介護

介護保険の指定訪問介護事業所として、介護や支援が必要な方を対象に、自宅にホームヘルパーが訪問し、身体介護や生活援助のサービスを提供して在宅での生活支援を実施した。利用者の減少は続いており、介護収入も前年度を下回った。

##### ①サービス内容

- ・身体介護：食事介助、入浴介助、排泄介助、体位変換、通院介助、その他身体介護
- ・生活援助：調理、洗濯、買物、掃除、その他の家事援助
- ・身体介護と生活援助の組み合わせ
- ・通院等のための乗車または降車の介助



訪問介護月別実績（月遅れ請求分は含まず）

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
請求件数	113	111	116	122	112	115
決定金額	4,658,470	4,733,630	5,112,250	5,151,580	4,901,780	4,710,250

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
113	120	116	113	110	107	1,368
4,396,660	4,418,290	4,323,820	3,917,280	3,724,460	4,138,230	54,186,700

※ 前年度 請求件数 1,526 件 請求金額 66,760,780 円

介護予防訪問介護月別実績（月遅れ請求分は含まず）

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
請求件数	15	14	15	12	11	12
決定金額	199,440	172,760	174,760	150,080	135,740	150,080

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
13	12	12	12	12	13	153
174,760	160,420	189,100	185,100	172,760	176,760	2,041,760

※ 前年度 請求件数 146 件 請求金額 2,054,980 円

## 2. 障害者自立支援事業

### (1) 障害福祉サービス

障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの提供では、居宅介護、重度訪問介護、移動支援の各事業を実施。利用件数、収入ともに増えた。

月別単位数（実績月）

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
請求件数	33	33	31	29	36	28
決定金額	871,850	749,160	807,550	814,380	974,380	740,510

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
32	31	36	31	32	30	382
924,350	886,480	897,670	816,580	845,020	792,000	10,119,930

※ 前年度 利用件数 362 件 利用金額 8,781,750 円

### 3. 生活支援サービス「あんしん」(保険外サービス) と一般乗用旅客事業

平成17年度から生活支援サービス「あんしん」を実施。訪問系サービスの介護保険外事業の一環として、生活支援サービス「あんしん」と平成18年度から一般乗用旅客事業として、ケアプランに連動した輸送と介護保険外の輸送を実施している。

#### あんしん月別実績

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
請求件数	25	22	21	21	31	21
決定金額	99,000	79,500	88,000	96,500	107,500	86,000

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
25	20	19	24	21	22	272
94,000	72,500	59,000	61,000	68,000	74,000	985,000

※ 前年度 請求件数 247 件 請求金額 951,750 円

#### 運行利用料月別実績

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
請求件数	97	93	110	110	103	96
決定金額	198,300	159,350	207,330	202,480	203,770	180,030

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
104	114	101	102	103	102	1235
209,750	180,550	161,220	145,670	151,080	208,360	2,207,890

※ 前年度 請求件数 1,365 件 請求金額 2,438,670 円

### 3 訪問入浴事業所

(職員体制)

職 種	常 勤	非 常 勤
1. 管理者	1	0
2. 訪問介護員	/	
(1) 看護師	2	2
(2) 介護員	0	5
(3) 運転手	2	0
合 計	5	7

#### 1. 介護保険対象の居宅介護サービス事業

##### (1) 訪問入浴・介護予防訪問入浴

介護保険の指定訪問入浴事業所として、看護職員や介護職員、オペレーターによって主治医の注意事項を守りながら、利用者の身体状況に応じた安全で快適な入浴サービスを提供した。年間を通して新規利用者の申し込みがあったため、前年度に比べ延べ利用人数、収入ともに増加した。

##### ①サービス内容

- ・ 血圧測定等の健康チェック
- ・ 衣類着脱介助
- ・ 浴槽への移動介助
- ・ 入浴介助
- ・ その他入浴に必要な準備

訪問入浴介護月別実績（月遅れ請求分は含まず）

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
請求件数	19	22	22	24	26	26
決定金額	1,019,200	1,346,690	1,300,970	1,210,300	1,517,550	1,390,150

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
25	23	24	22	21	21	275
1,215,540	1,295,730	1,211,790	1,124,100	1,022,180	1,184,050	14,838,250

※ 前年度 利用件数 244 件 利用金額 12,610,870 円

## 4 尾鷲通所介護事業所 (いきいき)

(職員体制)

職 種	常 勤	非常勤	職務の内容
1. 管理者	1	0	管理業務
2. 生活相談員	3	0	通所介護の適正な運営
(1) 看護師	0	3	看護業務
(2) 機能訓練指導員	0	4	運動機能訓練の実施
3. 介護職員	3	2	通所介護の提供
(1) 介護福祉士	3	0	
(2) ヘルパー1級課程修了者	0	0	
(3) ヘルパー2級課程修了者	0	2	

### 1. 介護保険対象の通所介護・介護予防通所介護事業の実施

#### (1) 通所介護・介護予防通所介護

介護に頼らない自立した生活を目指し、運動器の機能向上、口腔機能の向上のための事業を実施。器具を使った運動、器具を使わない運動など積極的に取り組んだ。

三重県デイサービス協議会に加入し、積極的に研修会に参加すること等により事業所全体の質の向上に取り組んだ。

新規利用者のうち、比較的要介護の方が多かったため、通所介護の利用人数等は、前年度に比べ微増したものの、入所、入院、体調不良等を理由とした利用停止者が増えたことにより、全体としては、利用人数、収入ともに減少した。

#### ①サービス内容

〈共通サービス〉

- ・身体介護・支援に関すること（排泄、移動など）
- ・生きがい生活支援（レクリエーションなど）
- ・送迎サービス
- ・日常生活における相談・助言

〈選択的サービス〉

- ・入浴サービス（通所介護）
- ・個別機能訓練サービス（通所介護）
- ・口腔機能向上サービス（通所介護）（介護予防通所介護）
- ・運動器機能向上サービス（介護予防通所介護）

通所介護月別実績（月遅れ請求分含まず）

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
請求件数	8	6	8	8	8	11
決定金額	180,310	169,900	234,750	194,790	238,070	287,700

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
9	8	7	7	6	7	93
253,130	186,750	208,240	143,840	144,890	226,370	2,468,740

※ 前年度 利用件数 85 件 利用金額 2,411,960 円

介護予防通所介護月別実績（月遅れ請求分含まず）

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
請求件数	21	19	20	19	17	19
決定金額	616,290	566,560	614,300	588,310	489,830	543,310

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
19	20	18	15	16	18	221
543,310	569,300	537,570	439,350	487,090	539,070	6,534,290

※ 前年度 利用件数 232 件 利用金額 6,950,680 円

## 2. 一次介護予防・二次予防事業の実施

### (1) 一次介護予防事業

（法改正に伴い、一般高齢者介護予防事業が平成23年4月より名称変更）

市内在住で65才以上の高齢者向けのサービスを実施し、介護予防に対する普及啓発に努めた。

### (2) 二次予防事業

（法改正に伴い、特定高齢者介護予防事業が平成24年1月より名称変更）

要介護状態・要支援状態にはないが、そのおそれがある高齢者向けのサービス。

運動器の機能向上、口腔機能の向上のための事業を行った。器具を使った運動、器具を使わない運動等積極的に取り組んだ。

開催数/金額	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
二次予防事業	4 120,000	5 150,000	4 120,000	3 90,000	5 150,000	3 90,000
一次介護予防事業	3 75,000	3 75,000	3 75,000	3 75,000	5 125,000	4 100,000

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
4	4	3	3	4	4	46
120,000	120,000	90,000	90,000	120,000	120,000	1,380,000
4	5	4	4	4	3	45
100,000	125,000	100,000	100,000	100,000	75,000	1,125,000

前年度 特定高齢者 開催数 45回 1,350,000円

一般高齢者 開催数 52回 1,300,000円

## 5 輪内通所介護事業所

(職員体制)

職 種	常 勤		非常勤		職務内容等
	専従	兼務	専従	兼務	
事務所長 (管理者)	0	1			管理業務
生活相談員	0	3	1	0	利用者・事業者間の調整
看護職員	0	1	0	1	看護業務
機能訓練指導員	0	1	0	1	運動機能訓練の実施
介護職員	0	2	9	1	通所介護の提供
栄養士	1	0	0	0	給食栄養管理
事務職員	0	0	0	1	事務全般

要支援・要介護状態となった場合でも、自立した日常生活を送ることができるよう、日常生活上の世話や機能訓練を行うとともに、引きこもり予防や社会参加および介護をしている家族の負担軽減を図るために通所介護を実施した。また、尾鷲市から一般高齢者介護予防事業の委託を受け、一般高齢者を対象に介護予防の普及啓発に努めた。

### (1) サービス内容

- ①入浴サービス (特別機械浴、一人浴、一般浴)
- ②送迎サービス
- ③生活指導
  - ・健康チェック
  - ・レクリエーション、創作活動
  - ・運動器機能向上(個別機能訓練)サービス
- ④食事の提供

(月別請求額)

介護予防通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
請求件数	14	13	16	16	16	17
請求金額	489,560	463,810	519,550	519,550	562,570	586,070
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16	16	15	13	11	14	177
562,570	562,570	515,310	463,810	412,310	489,560	6,147,240

通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
請求件数	39	37	38	38	37	38
請求金額	2,920,640	2,441,810	2,406,110	2,739,810	2,767,690	2,552,090
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
40	42	38	39	38	35	459
2,924,640	2,832,420	2,787,590	2,629,790	2,582,220	2,833,320	32,418,130

一次予防事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催回数	4	4	4	4	4	4
請求金額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
延利用者数	13	11	12	11	15	12
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	4	4	4	4	4	48
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000
29	32	32	28	23	25	243

特定高齢者介護予防事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催回数						
請求金額						
延利用者数						
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	4	4				12
120,000	120,000	120,000				360,000
4	4	4				12

※ 通所介護、介護予防通所介護に関しては、月遅れ請求分含まず。

介護予防通所介護前年度請求件数 188件 金額 6,979,880円  
 通所介護前年度請求件数 471件 金額 34,502,460円  
 一般高齢者事業前年度延べ利用人数 563人 金額 1,775,000円

三重県デイサービス協議会に加入し、各種研修に参加してサービスと職員の質の向上に努め、自宅での生活の延長として要支援・要介護者を対象にデイサービスを提供した。

通所介護・介護予防通所介護ともに利用者、収入ともに減少。平成23年度は新たに特定高齢者介護予防事業を実施したが、加算算定の見直しなども行ったため、事業収入は前年度から減少した。

## IV 輪内高齢者サービスセンター

### 1. 社会福祉協議会の分室機能

輪内地区の福祉の向上を図るため、次のような事業を行った。

(1) 高齢者サービスセンターを利用した研修会や催し

個人利用 : 0回                      団体利用 : 2回

(2) 社協業務の受付窓口としての機能

①輪内地区における募金事業の窓口として事業を推進した。

5月 日赤募金                      10月 共同募金

②相談窓口業務として年間39件の相談を受け付け、市や介護保険関係事業所との連携を図った。

(3) 施設の適正な管理・運営に努めた。

### 2. 輪内地区食の自立支援事業（市補助事業）

生活支援型配食サービスとして、週3回（火、木、土）、「食事を作ることが困難な高齢者」を対象に、食事内容の検討及び調理を行い各家庭へ配食した。

対象地区	: 輪内一円（梶賀、曾根、賀田、古江、三木里、三木浦）
登録者数	: 30名      下記に地区別内訳（平成24年3月現在）
延べ配食数	: 3,352食
事業費	: 2,012,600円
(内市補助分)	: 673,800円

地区別内訳

（梶賀0、曾根2、賀田7、古江17、三木里4、三木浦0）

### 3. 輪内地区食の自立支援事業（自主事業）

平成21年度から、食事を作ることが困難で、市の配食サービスの対象とならない住民に対して自主事業としての配食サービスを実施。梶賀町で年間230食を配食。平成23年度は新たに古江町151食、賀田町26食を年間で配食した。